

福島県の委託事業「チャレンジふくしま若い力による風評対策提案事業」に
団体会員 NPO 法人 Social Net Project MOVE の提案が採択されました！

「ふくしま まけねえ魂！」第 1 回事業報告



「ふくしま まけねえ魂！」風評対策事業とは——

1 もっとも困難な道を拓こうとする漁業・水産加工業に光を当てる！

試験操業でからくも漁業を継続する浜通り被災地域。その中で原子力災害による風評と地域からの人の流出という課題に立ち向かい、漁師町文化を守る若い力を応援します。



相双漁協原釜支部青壮年部長 菊地基文さん

2 困難な農業再生に挑む中通りの農業に光を当てる！

放射線量被害を強く受けた、中通り地域。いまだ風評の残る中、震災前以上の魅力ある農産地にしようと取り組む若い力を応援します。



ごとうファーム&御稻プライマル専務取締役 後藤正人さん

3 首都圏の中心地である港区と福島を結び、世界へ FUKUSHIMA MODEL を発信！

福島を知り、ふれることで、福島との出会いをツアー参加者の日常にさせていただきます。港区内自治会、市民団体と深く連携し地域モデルとなる FUKUSHIMA MODEL と MINATOKU MODEL を融合し、地方と都市をつなぐ新しい協働を港区から世界に発信します。



2012 年港区立檜町公園での福島県民と都民との交流事業

⇒上記の目的のため、福島を知り、ふれ、学ぶ応援学習バスツアーを6月・11月に実施。参加者は主として港区及び港区とつながりのある都民を中心に募集します。年2回のツアー交流で福島の生産者や県民と港区及び都民とのつながりを創造し、12月、港区赤坂中学校で実施される港区青少年対策赤坂地区委員会主催の防災学習会と連携し、防災学習&芋煮会を共催します。

⇒これを起点に、「みなとふくしま未来塾」(仮)を設立し、持続的継続的に地域の課題を力考えるワークショップを定期開催。「防災」「まちづくり」「食の安全」「自然・再生エネルギー」の4テーマで小中学生と地域の大人たちが次世代へ向けた取り組みを研究します。

⇒これを2020年東京オリンピック開催時、港区を拠点に世界へ発信します。

第1回「浜の漁師魂・かあちゃん魂応援学習バスツアー」大反響！

実施日：平成27年6月20日21日

ツアー参加者 約40名 実施参加者 約120名



そうまグリーンアーク理事長 菊地基文氏



相双漁協女性部部長佐藤やすこさん

事業① 浜の漁師めし無料試食会

津波被害、原発事故被害にどう対応し、いま試験操業の中で、次へ向けて地域自治体、漁業関係者、観光関係者がどういう取り組みしているかを学びました。

会場：相馬市ホテルみなとや 松川浦漁港

協力：相馬市・相双漁業原釜支部青壮年部・女性部・セイシン食品

共催：NPO法人そうまグリーンアーク



サメカレイの煮付け・海鮮刺身盛り・あんこうの肝あえ・どんこ汁



相馬市ホテルみなとや 立谷相馬市長を始め生産者が実状と取り組み紹介